

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1156	(H.24)No.	1156
-----------	------	-----------	------

事務事業名	中学校教育振興費(学務管理室)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学務管理室	中谷 恒雄	

会計区分	事業コード	481001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	中学校教育振興費	
項 中学校費	(小事業名)	
目 教育振興費	中学校教育振興費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科・数学に関する生徒の良好な教育環境の整備</li> <li>・学校部活動の健全な発展と充実、運動部活動の振興と生徒の健全な心身の育成</li> <li>・長瀬地区等から名張中学校に通学する生徒の通学手段・安全の確保</li> </ul>

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<理科・数学教材備品>中学校3校 1,654千円<体育・文化クラブ報償>体育4,983千円、文化821千円<中学校体育連盟等負担金>2,082名分:1,666千円<長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託>年間208便運行 1,168千円<就学援助>15,447千円(対象者267名、学用品費等15,172千円、医療費276千円)<特別支援教育就学奨励費>693千円(対象者24名)<その他報償>卒業証書丸筒77千円<H25年度への繰越明許費>(理科・数学教材備品)中学校1校 375千円	[H25より扶助費分は「No.2156:中学校教育振興費(扶助費分)】 (体育・文化クラブ報償)体育5,175千円、文化800千円(中学校体育連盟等負担金)2,150名分:1,720千円、三重県中学校総合体育大会開催地負担金 200千円(長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託)200便運行(年間予定)1,155千円(その他報償)卒業証書丸筒111千円

事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国補助金活用による理科・数学の教育設備整備</li> <li>・中学校体育連盟等主催の大会参加の旅費等支給</li> <li>・中学校体育連盟等への負担金交付</li> <li>・名張中学校から長瀬地区等への帰宅時通学バス(臨時便)の運行</li> </ul>

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
理科・数学教材備品(中学校4校)、体育・文化クラブ報償、負担金(中学校体育連盟等・県中学校総体開催)、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託	理科・数学教材備品(中学校4校)、体育・文化クラブ報償、負担金(中学校体育連盟等・県中学校総体開催)、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託	理科・数学教材備品(中学校4校)、体育・文化クラブ報償、負担金(中学校体育連盟等・県中学校総体開催)、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
<b>直接事業費</b>	<b>26,509千円</b>	<b>9,161千円</b>	<b>11,171千円</b>	<b>11,378千円</b>	<b>11,378千円</b>
内訳(千円)					
国・県支出金	1,236		1,000	1,100	1,100
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 25,273	9,161	10,171	10,278	10,278
人員					
職員	0.68人	0.21人	0.21人	0.21人	0.21人
臨時職員等	0.04人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 5,304千円</b>	<b>1,651千円</b>	<b>1,651千円</b>	<b>1,651千円</b>	<b>1,651千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 31,813千円</b>	<b>10,812千円</b>	<b>12,822千円</b>	<b>13,029千円</b>	<b>13,029千円</b>

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科教育設備備品は、国庫補助金を活用し、年次計画的に整備を進めていますが、依然として国の充足率を満たしていないことから、引き続き対応が必要です。</li> <li>・臨時バス運行については、市の財政状況等を踏まえ、公共交通機関を生徒の通学手段としている現状にあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育設備備品については、限られた予算の中で、国庫補助金を活用し、優先度や必要性の高い設備備品の整備を促進していきます。</li> <li>・スクールバス等代替手段の導入が困難な中、生徒の教育面、生活安全面等への影響を可能な限り少なくするため、引き続き臨時バス運行の取組を進めます。</li> </ul>

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策目標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	設備備品や通学手段など、生徒の教育環境を整備することで、より円滑な学校教育の実施を図ることができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	<b>継続(現行)</b>
--	---------------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
生徒の教育環境を整え、円滑な学習指導を実施するため、継続して設備備品の充実・整備や部活動の支援、適切な通学手段の確保を進める必要があり、現行通り継続して事業を行います。

## 6. 事務事業の取組に係る主な市の計画

--